

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
農林部	阿部喜孝	農業振興 普及課	担い手・経 営班	吉川 進太郎	0187-63- 6110	大豆難防除雑草対策実証 事業	大豆の難防除雑草として 全国的に問題となっている 帰化アサガオ類・アレチ ウリについて、管内で侵入 が確認されている。そのた め、蒸気処理技術の実用 性の検討と大豆の難防除 雑草について管内大豆生 産者に対して注意喚起を 図る。	176,811	直営	・蒸気処理防除機による 帰化アサガオ類多発ほ場 処理(現地実演会)の実施 (6月、11月の2回)。 ・管内大豆生産者を対象 とした、大豆難防除雑草 技術対策研修会の開催(3 月)。	県	管内大豆 生産者	平成28年5月30日	蒸気処理後の帰化アサガ オ類は処理後1週間以内 にほぼ100%が発芽し、除 草剤との体系処理により 密度を低減できた。	蒸気処理防除機の効果は期 待できるが、処理機が高価な ため個人所有するのは難し い。処理機の低廉化や地域 での共同購入が進めば普及 性はあると思われる。 大豆の安定生産に向けて引 き続き大豆の難防除雑草に 対する注意喚起を図ってい く。
						平成28年5月30日～ 平成29年3月31日	平成29年5月16日								
福祉環境 部	豊島優人	健康・予防 課	健康・予防 班	高島樹子	0187-63- 3404	「がんについて考えるセミ ナー」開催事業	管内では亡くなった方の 約25%はがんが死因となっ ている。このことから、が んや緩和ケアについての 正しい知識の普及と、肺 がん発生リスクが約1.3倍 という受動喫煙の防止に ついて啓発する。	196,077	直営	がんについて考えるセミ ナーの開催(1月29日) 医師の講演2題、がん患 者会の活動紹介、受動喫 煙防止対策宣言施設の取 組紹介 参加者数: 約110名	県	地域住 民、がん 患者・家 族、地区 組織、企 業等	平成28年8月29日	参加者アンケートから、が んや緩和ケアについて、正 しい理解ができたよう だった。また、受動喫煙の 害については、驚きと共 に、取組の重要性を認識 した記載が多かった。	今後も機会をとらえ、がんや 緩和ケアについて、正しい知 識の普及を行う必要がある。 また、受動喫煙防止の重要 性について啓発し、各分野で 取り組まれるよう働きかけが 必要である。
						平成28年8月29日～ 平成29年3月31日	平成29年5月16日								
福祉環境 部	豊島優人	環境指導 課	環境・食品 衛生班	長谷川 博之	0187-63- 3694	災害時ペット同行避難体 験	過去の災害の経験から、 ペットはできる限り飼い主 のコントロール下に置くこ とが必要とされる。そこで 飼い主には災害への備え や災害時の対応を学んで いただき、また市町には ペット同行避難者への対 応や避難所の設置方法を 検討していただく。	150,772	直営	ペット同行避難に関する 講習会(10月27日) 参加者 21名 ペット同行避難体験(10月 30日) 参加者 11名 犬 9頭 見学者3名	県	地域住民 管内市町	平成28年8月29日	地域住民に災害時は「自 分のペットは自分で守る」 という意識を持っていただ き、日頃の備えやペットの しつけの重要性を理解し てもらえた。管内市町には 災害時にペットを収容でき る場所の確保が大切であ ることを伝えた。	県内初の事業でありモデル ケースとして、この実績は平 成29年度以降県で作成され る「災害時のペット対応ガイ ドライン」に生かされる予定で ある。
						平成28年8月29日～ 平成29年3月31日	平成29年5月16日								
総務企画 部	袴田次郎	地域企画 課	企画・観光 振興班	備前俊吾	0187-63- 5114	第16回国際花火シンポジ ウム小中学生観光ガイド 事業	国内外から多数のお客様 がお見えになるイベント等 において大仙市が「大仙 市子ども観光ガイド」をおこ なうこととしており、取組を 支援する。	27,648	直営	「子ども観光ガイド」を実施 する際ののぼり旗(20枚) を作成	県	観光客	平成29年1月24日	大仙市からの要望に基づ き取組を支援することが 出来た。	取組が継続出来るように今 後とも各種支援を行っていく。
						平成29年1月24日～ 平成29年3月31日	平成29年5月16日								